

会 議 録

1 会議名

第12回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ・（仮称）「みんなの保育園を考える会」の委員選出について
- ・平成30年度の取組計画について

(2) 報告事項（公開）

- ・地域の交通を考える会からの報告
- ・市からの報告

平成30年度柿崎区における主な事業について

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成30年3月20日（火）午後2時から3時23分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、片桐充、加藤満、佐藤健、高野武夫、武田正教、榆井隆子、吉井一寛、渡邊征雄
- ・ 事 務 局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、古屋靖夫建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班

長、長井英紀主任(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【佐藤次長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【小出会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に金子委員を指名

【小出会長】

協議事項(1)、(仮称)「みんなの保育園を考える会」の委員選出についてに入る。

- ・資料No.1を基に説明

左側が平成30年度の各委員会名簿である。一番左の列に「みんなの保育園を考える会」の委員案を掲載してある。薄波清美さん、片桐充さん、加藤満さん、佐藤健さん、白井一夫さん、引間孝史さん、吉井一寛さん、渡邊征雄さん、以上8名にお願いしたいと思う。

選出理由として「地域の交通を考える会」に入っていない委員から入っていたということと、それぞれの地区にある保育園について考えることであるため、川西地区町内会長協議会の会長の佐藤委員、下黒川地区町内会長協議会の会長の吉井委員、そして柿崎地区町内会長協議会の会長の白井委員に入っていたきたくこの様に選出させてもらった。吉井委員については地域の交通を考える会の委員長でもおられるが、地域性等色々考えて「みんなの保育園を考える会」もお願いしたいと思う。よろしいか。

【渡邊委員】

「みんなの保育園を考える会」も8人ということだが、地域協議会で各種の委員会を設ける際に8人という構成を基本にしているが、あまねく公平に委員をやってもらおうということだけではなく、やはりその事案、何を協議していくかその内容の軽重があると思う。その辺を考えて、これでいくとフル稼働というか誰も手の空いている人がいない。吉井委員のように両方にダブってしまうという方もおられる。

平等という言い方が良いのか悪いのか分からないが、やはりただ8人を充てれば良いという考えだけではなく、少し軽重を考えたらどうか。

協議会があつてその他に委員会が例えば月に2回あるとすると、この協議会に係わる活動で何日か費やすこともある。皆さんそれぞれ仕事を持っておられる訳で、8人という事に関して皆さんのご意見を聞いたらどうか。

【小出会長】

当初、今期は8人ずつという形を取らせていただいたので、ここで減らすのはおかしいのではないかと、金子副会長とも相談してこのようにさせていただいた。皆さんいかがか。

【佐藤委員】

「みんなの保育園を考える会」はイコール合併・廃止の考え方も1つに入っていると思う。私も町内会長をやっているが、町内会は保育園と密接に関係し、地域の色々な行事に参加していただくとか、本当に保育園の皆さんと力を合わせてやって来ている訳なので、ここで私は「みんなの保育園を考える会」の統合ありきの所には入るべきものではないと思っている。それで、交代をさせていただきたいと考えている。

【小出会長】

佐藤委員から統合ありきの協議には距離を置きたいとの話が出たが、どういう保育園が本当に良いのかということ、統合ありきではなく真剣に協議していただきたいと思っている。

そして、佐藤委員におかれては長年町内会長職をされており地域の実情にも明るいし、保育園の事も熱心に考えておられるので、是非委員に入っていただきたいと思っている。

【佐藤委員】

やりづらいということがある。だから今回は抜けさせてほしい。

【小出会長】

佐藤委員から、今回は遠慮したいという意見が出た。

先程渡邊委員から8人はやはり多いのではないかとの意見も出た。いかがか。

【武田委員】

8人は別に多いとは思わない。常に8人全員揃って会議ができるわけでもないし、ある程度の人数がいないと会議は進まないの、1人2人欠席しても会議が成り立っていくにはそれ位の人数が必要と思う。

それから、佐藤委員の言われた統合ありきを頭に入れてこの会を進めていくのではなく、統合しないで今の形で建替え等にもっていくのがベストであり、それにはこうだという物を作るのがこの会ではないかと思う。

統合ありきで考えるのではなく、今の規模でやっていった方が地域の子供の育成には一番良いのだという材料を挙げ、行政に今のままでやっていきたいと提案する。ただ、第一保育園は0メートルに近い所にあるので、違う場所に移す方法もあるが、これがベストと地元では考えていると出してよいと思う。

だから、統合ありきではなく柿崎としてベストな形を結論付けて行くのがこの会ではないかと思う。

ただ、佐藤委員が個人的にできないとなればそれも仕方が無いと思う。

【金子副会長】

この人選については私も副会長になって初めての仕事ということで、小出会長と決めさせていただいた。

2年前に皆さん自ら手を挙げられて委員に選任されたわけで、その時の皆さん

の抱負は地域の課題に向かい合っただけで考えていきたいとか、地域を活性化したいとか、それぞれの思いがある中で地域へ出向いて懇談会を行った。

地域との懇談会を行うには何かテーマを持って行かないと意見が出ないという事で、テーマとして、「災害時の避難体制や自主防災組織の在り方について」と、「空き家対策について」として懇談会を行った。その中で出てきたのが「地域の交通を考える会」であり、保育園に関する事は、また別の角度から出て来た課題であるので、地域の課題にそれぞれの委員が向かい合っただけで議論を交わして方向性を定めてもらいたいという意向で選任させていただいた。

また別の委員会を設置する場合には、その時点で選抜していけば良いかと考えて今回は決めさせてもらった。

直ぐには意見書などの形にならないかも知れないが、1つの方向性としてまとめていければと考えているし、去年の懇談会のように自主防災組織の活動とか災害時の避難体制についてなど、意見交換を行う事で意見書にはまとまらなくても住民の意識が高まり、「自主防災訓練もやらないといけない」とか「災害時はこうしなければいけない」など、皆さんの意識付けができたと思うので、そんな観点からご理解いただきたいと思う。

【小出会長】

佐藤委員、いかがか。

【佐藤委員】

先程も話したように、私はこの中に入れてほしくないと言うのが本音である。是非交代させてください。

【小出会長】

では、佐藤委員の気持ちも尊重させていただき、今回は7人でいきたいと思うがよろしいか。

佐藤委員にはまた折に触れて話も聞けると思うし、私ども正副会長も常時とはいかないが顔を出させてもらいたいと思うので、この7人の方をお願いしたいと思うがよろしいか。

- ・特に意見はなし

それではよろしく願います。

【小出会長】

では（２）の「平成30年度の取組計画について」に入る。

- ・資料No.2を基に説明

先ず1番の地域協議会開催日時だが、後半の1月、2月、3月は12月の段階で日程を決定させていただいた。

勤めておられる方もいるし、色々と仕事の関係もあるので、あらかじめ日を決めておいたらどうか。例えば毎月20日とか、第3何曜日などと決めておいて、基本は夜の開催ということでいかがか。

お仕事されている薄波委員、いかがか。

【薄波委員】

あらかじめ決めてあれば、勤務変更できるかも知れないし、職場の会議が重なったときは休みの可能性もあるが、私としてはあらかじめ年間でもよいし3か月以上前に決めておいていただければありがたい。

【小出会長】

片桐委員、いかがか。

【片桐委員】

これで良いと思う。

曜日で決めた方が良くと思うが、例えば第3だとか第2だとか。

【金子副会長】

これも決めるときに、料理店を経営されている方もおられるので、はたして夕方6時と限定されるとどうかと思うし、逆に今勤務されている方からは「できれば夕方をお願いしたい」という意見も耳に入っている。そうかといって6時半か

ら始めた場合、議題が多かったりすると終わりが遅くなってしまいうのでいかがなものかという意見もいただいた。

そこで6時に始めれば終わりもそれなりの時間に落ち着くのかということも検討した。ただ、毎月何日と決めるのか、それとも第何週の何曜日と決めるのか、商売をされておられる方もおられるので曜日に関しても意見を伺わなければならないが、どちらにするか皆さんの意向を聞かせていただければと思う。

【高野委員】

私共商売人とすれば、例えば明日のように休日と重なると役所の方もおられるので、できれば平日の方が良いのではないか。個人的には、平日でも第三水曜日がよいと思う。

【小出会長】

楡井委員、いかがか。

【楡井委員】

決めていただければそれに予定を合わせるが、個人的には月初めと月末は好ましくないなので、早目に予定を組んでいただければありがたい。

【小出会長】

吉井委員、いかがか。

【吉井委員】

私事なのだが、第三の火曜日がよい。

【小出会長】

武田委員、いかがか。

【武田委員】

皆さんがそれでよければやむを得ないが、私は火曜日が唯一の休みの日なので。

事務局の方々の準備する関係で、火曜日か水曜日に会議を設定し易いのは分かるのでやむを得ない。

【小出会長】

どうしてもこの日でなければ駄目だという事がなければ、では第三水曜日で良いか。

【佐藤委員】

私は町内との関連があるため、できれば第四金曜日あたりにしてもらいたいと思う。

【小出会長】

今いただいた意見を参考に年間計画を立ててみたいと思うが、それでよろしいか。

・特に意見はなし。

また、夕方6時からという時間はどうか。

【吉井委員】

引間委員や湯本委員は2時からだと参加できない。そういうことを考えると冬は大変だけれど6時からでよいと思う。

【小出会長】

では、時間は6時からで決めさせていただく。

次に、2の「事業の取組について」です。

29年度に実施した主な取り組みを挙げてある。30年度は実施するかしないか、どのような方法がよいか、方向性を決めたいと思う。

まず、柿崎区地域協議会委員の視察研修については実施したいと考えている。昨年は富山に行ったし、保育園の視察も実施した。新年度はどのようにしたらよい

か。地域活動支援事業の実施状況を確認してはどうかとの意見も出ていた。

特に意見がなければ新年度に入って決めたいと思う。

次に、懇談会について、29年度は6地区に出向いて皆さんの意見をお聞きしたが、30年度の懇談会については地域に出向くことを1回休みにして、懇談会の対象者を商工会や町づくり団体あるいは中学生などとし、意見交換してはどうか。具体的内容の提案ではないが、テーマと対象者を決めて2、3の団体と実施できたらよいと思っている。こちらも新年度に入ってから実行委員会を立ち上げて進めていきたいと思うが、この提案について意見があったらお願いしたい。

特に意見がなければ、次のまちづくりフォーラムについて。

次年度も2月くらいに開催したいと考えている。内容については実行委員会を立ち上げて検討していきたいと思う。意見があったら聞きたい。

特に無いようなので、次に、3の各種委員会等設置について。

新しく委員を選任するのは「みんなの保育園を考える会」だが、先程委員を決めさせていただいた。

委員が交代するのは「地域協議会だより編集委員会」だ。2年間の任期が終わったので30年度から新メンバーになる。別紙1の平成30年度各種委員会名簿に記載させていただいたが、この名簿のとおり加藤委員、佐藤委員、白井委員、高野委員、武田委員、新部委員、湯本委員、以上の7名をお願いしたい。

次に、現在継続しているのは「地域の交通を考える会」である。本日もこの後4回目の会議を開催することになっている。引き続きよろしく願います。

今後設置する必要がある委員会は、「懇談会実行委員会」「まちづくりフォーラム実行委員会」がある。そして「地域活動支援事業検討委員会」も毎年設置していたが、必要かどうかを後ほど検討したいと思う。

次に各種委員会の開催方法について提案させていただく。

今後開催する各種委員会については、地域協議会委員が主体で開催する。会議録は委員が作成する。必要に応じて地域協議会へ報告、議論する。ということにしたいと考えている。また事務局からは資料提供等の事務的業務を補助していただく。事務局が会議に全く出ないということではなく、必要に応じて出してもらう。

委員長を中心に開催日の設定や協議内容の決定、地域協議会への報告資料の作成等を分担し、事務局の負担を減らすことも考えて取り組んでいきたいと考えている。

意見があったらお願いします。

特に無いようなので、4のその他。

頸北地区地域協議会委員合同研修会は、平成30年度は大潟区が幹事になっていて、時期や内容は未定だが承知願いたい。

最後に柿崎区地域協議会の懇親会幹事についてである。

先日は金子副会長から滞りなくやっていただいたが、幹事を当番制にするとか、金子副会長から受けていただくとか、色々な意見があると思うが、いかがか。

私としては金子副会長がベストと思うが。

【金子副会長】

吉川区では委員が会場の手配から進行までやられているようだ。前は私も副会長という立場であったので、全部やらせていただいたが、吉川区では委員が交代でやられている。2、3回くらいなら私がやらせてもらってもよいと思うが、色々なお手伝いをお願いしたら受けていただきたい。

それと、先程の今年度の地域の皆さんとの懇談会の件だが、6地区に出向いて意見を聞き、課題を整理してまとめる中で、地域の交通について、特に免許の持たない方、高齢の方等々の困っていることを課題とし、委員会を立ち上げている。

それから、保育園の問題は以前から出ている課題であるが、それらを来年度はある程度形にする方向で取り組んでいきたいと思うし、地域のまちづくり団体とか中学生とかの団体と意見交換をしたいと思っているので、今後協議して行きたい。

【小出会長】

5の報告事項に移る。

まず「地域の交通を考える会」、吉井委員長から報告をお願いします。

【吉井委員】

- ・資料N o . 3 に基づき報告

【小出会長】

特に質問がないようなので次に進む。

市からの報告で「平成30年度柿崎区における主な事業について」、説明をお願いする。

【風巻G長】、【大橋G長】、【古屋G長】、【島岡G長】

- ・資料N o . 4 に基づき順番に報告

【小出会長】

その他に入る。

次回は30年度の開催となる。

1回から3回までは地域活動支援事業に関する内容となり、日時が決まっているので確認させていただく。

- ・平成30年度第1回柿崎区地域協議会の開催日

日 時：平成30年4月24日（火） 午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

内 容：地域活動支援事業の基本審査及び採択方針による審査

- ・平成30年度第2回柿崎区地域協議会の開催日

日 時：平成30年5月14日（月） 午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

内 容：地域活動支援事業プレゼンテーション

- ・平成30年度第1回柿崎区地域協議会の開催日

日 時：平成30年5月24日（木） 午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

内 容：地域活動支援事業採択決定

【渡邊委員】

市からの報告事項の中で「柿崎コミュニティプラザ管理運営費」という項目があるが、昨年私が提案した内容で、ホールのスクリーンの関係はどうなっているか分かるか。

【風巻G長】

ホールのスクリーンの関係については、予算要求を行ったが、緊急性がないという事で予算付けがなされなかった。

【渡邊委員】

先月、私が自主的審議事項として提案した内容について、不採択ということではなかったと思うが、今後どのような取り組みをしていくのか。また、それに関連して南所長から自主的審議事項に馴染まないというお話もあったが、その根拠はどういうことなのか詳しく聞かせていただきたい。そして、私が提案した内容をどのようにしたらよいか、ご教示いただければと思う。

【小出会長】

先ず、渡邊委員からの提案は否決ということではなく、預かりという形になった。

【渡邊委員】

今後どうするのか。倉庫に入れて大事に閉まっておくだけなのか。継続審議でやるとすればどのようなになるのか。

3月4日に頸城の希望館で地域活動フォーラムがあった。そこで事例発表にあった自主的審議事項の取り組みの中で、三郷区が高齢者支援の取り組みを行っている。それから諏訪区では、移住促進協議会を設置するというところまで、地域協議会が関わって自主的審議事項で提案して出している。市内から市内ではなく他の県から諏訪区へ人を呼ぼうとする内容であり、非常に壮大で人口減少に目を

当てたすばらしいものだと思うが、それが自主的審議事項として取り組み前進している状況もある。

【南所長】

地域協議会の中での自主的審議事項に馴染むか馴染まないかという話を先回らせていただいたが、先般話をした内容のとおりである。

今話のあった移住の関係だが、今どこでも人口減少が課題になっている。それを解決していくために移住ということで審議されているものだと思うので、これについては地域での課題を「人口減少」とし、そこにスポットを当ててどういうことがよいのかということで「移住」という議論をされていると思う。それについては、当然自主的審議事項に馴染むものだと思う。

先般発言させていただいたことは、提案について私は何も申しではない。ただ、地域の課題を解決するためにどういうことを議論していくかというのが、地域協議会の中での自主的審議事項とすれば、その課題が何なのか。人口減少にスポットを当てるのか、街中の衰退か、産業振興か。何が課題なのかが分からない中で、それを整理しないでいきなり手段ということで、物を造ることを議論するのは違うのではないかとということで申し上げた。提案の内容、それから一般的な市民活動の中でそんな気運を盛り上げていくのは素晴らしいと思う。

ただ、地域協議会の中で、地域の課題を整理され、その中からそれを解決していくための事を皆さんで議論して、それを市に提案する。または地元の皆さんがそれに取り組む。そういうこととは少し違うと申し上げたわけであり、この辺の議論がかみ合わないかも知れないが、そうであればまた個別に話をさせていただきたいと思う。

【小出会長】

渡邊委員から継続と言うのは蔵に入れて置くのかと話があったが、今、南所長が言われたように、やはり課題が何なのかというところをもう少し精査して、ではどうしようかというプロセスが見えてこないといけないと、個人的には思う。

【渡邊委員】

私は柿崎に国道8号が通っていて、そこに年間約300万人が通っているというのを皆さんから知って欲しい。そこを通っている人に寄っていただけないだろうか。ここにはおいしい物が沢山あり、綺麗な海があり、景色のよい所である、ということをやりたいと思ったことがそもそもであった。

協議会としてこういう形でやっていくというのが直ぐには見えないまでも、皆さんからの意見を募ってやっていく方向を望みとして置いて欲しい。

【小出会長】

地域が衰退することは望んでいることではないし、地域が元気になって一度出た人がまた戻って来られるような街になるように磨きを掛けていくにはどうするのか。その中では地域の交通を考える会とか保育園の件など、色々な課題を皆で協議していく中で見えてくることではないかと感じる。

【金子副会長】

柿崎区の主な事業ということで、エミリオさんはもう2年終わられる。任期は3年ですよ、自立する方向性が見えてきているのか。

もう1点は、公共下水道整備事業は2億5千万投資されて管理されている。以前に接続率が非常に低いと聞いたことがあるが、現在はそんなに問題はないのか。

【風巻G長】

地域おこし協力隊のエミリオ隊員は平成28年10月に着任していただき、3年間の予定で活動している。平成31年、来年の9月まで地域おこし協力隊となっている。

昨年からは、3年後はどういうふうに地域で定住していくかという相談をしている。主に農業に携わっていきたくないと希望を持っているが、なかなかこの柿崎の農業に馴染むようなイメージができていないようなので、県や産業グループの農政班などに相談をしながら、3年後について相談をしている。

本人は家族4人で柿崎に残りたいという希望を持っておられる。

【古屋G長】

下水道の接続率の関係だが、年々接続率は増加している。ご存知のとおり、今は上下浜地区に入っている。柿崎地区の公共下水道事業の計画の中で残っているのは上下浜地区だけであり、平成28年度から上下浜地区に入っていて、平成34年度までに完了する予定である。

終わったところから順次接続をしているということで、年々接続率もアップしている。

【小出会長】

他に何かあるか。

なければ、事務局から地域活動支援事業の事前相談の状況や、各種配付物の説明をお願いします。

【唐澤班長】

今月一杯ということで地域活動支援事業の事前相談を受けている。現在のところ新規の事業が6件、継続事業が4件相談に来ていただいている。継続の方はガンバ米山だとかふれあいパークの会、シネマ倶楽部、子ども会連合会なのだが、まだ他にもという声は聞いているが、事前相談が少々出遅れているのかという気がしている。また委員の方からも近くでそんな方がおられたら事前相談に行くように声を掛けていただければと思う。現在のところ全部で10件となっている。
続いて

- ・配付資料の説明

【南所長】

- ・人事異動の内示について報告

【小出会長】

- ・閉会を宣言

(午後3時23分開会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。